

令和7年度 学校経営方針【グランドデザイン】横山小学校

学校教育目標

確かな言語能力を身に付け、自分で考え、主体的・自律的に行動する 児童の育成

未来につながる子どもの育成

大分県長期教育計画
大分県教育委員会重点方針
中津教育事務所指導方針
宇佐市学校教育指導方針

目指す児童像

- ・言葉で伝えられる子ども
- ・話し合い解決できる子ども
- ・未来に挑戦する子ども

目指す教師像

- ・子どもの話をよく聴き、深い愛情を持ち、可能性を伸ばす教師
- ・人権感覚を養い、人間性豊かで、常に授業・教育活動を改善する教師
- ・創造力と実践力を発揮し、保護者・地域から信頼される教師
- ・突破力・改革力のある教師

目指す学校像

- ・子どもに学ぶ意欲と自信を持たせる
- ・安心・安全で楽しい学校
- ・地域と信頼関係で結ばれ、協働するあたたかい学校

学校経営方針

校長のリーダーシップのもと芯の通った学校組織の構築と学校マネジメントにより、児童に未来を「生き抜く力」を育む教育活動の推進(つながる力の育成)

- 自己決定の場・自己存在感のある場をもち、共感的人間関係を育む中において、新大分スタンダードによる授業改善を進め、確かな言語能力を基盤として、育成すべき3つの資質能力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力と人間性)を向上させ、「学ぶ力」となる個々人の伸びを大切にした確かな学力を育成する。
- 行事・縦割り活動・児童会活動など、人との関わりの中で、相互理解を深めながら支え合い、つながりあうことで思いやりの心や人権意識を基盤とした自他を大切にする力を育成する。
- 基本的生活習慣の確立と日常的な体力向上を図りながら、心身ともに健やかな体を育成する。
- 地域や家庭の連携を深め、幼保小および小中の連続性を見据え、未来に希望を持てる教育活動を推進する。当事者意識を高揚し、主体的に改革を進める関係を構築する。

改革を主導する学校運営協議会

言語能力を高め、自ら学び考える子どもの育成
(言葉で伝えられる子ども)

○少人数のよさを生かし、個に応じたきめ細かな指導により、確かな言語能力の育成と基礎・基本の定着を図ります。

○「子ども同士の対話・協働」「教科ごとの見方・考え方を働かせた課題追求」をキーワードに主体的・対話的で深い学びの実現を図り、確かな学力を身に着ける指導を行います。

○生活目標「あいさつ、そうじ、言葉づかい」の継続的な指導にて、自主性・自律的行動意欲の向上を図ります。

自分で考え、判断しながら、自主的・自律的に行動する子どもの育成
(話し合い解決できる子ども)

○対話をもとにして進められる問題解決的な授業の実現により、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

○考え、議論する道徳授業を実践し、常に子どもの内面に訴えながら、人を大切に作る実践力を高めます。

○全校活動、異学年交流、縦割り班活動を通して、互いの良さを認め合える集団・いじめや差別を許さない集団をつくる中で、進んで他者と関わり、よりよい生活を築こうとする力の育成を図ります。

自己理解と他への思いやりをもとに協力して、より良い集団をつくらうとする子どもの育成
(未来に挑戦する子ども)

○各教科で身に着けた言語能力を活用しながら、問題解決に向けて探求する生活科・総合的な学習の時間の充実を図り、様々な人々と協働する力の育成を図ります。
(各行事・ふるさと横山学習発表)

○全校活動、異学年交流、縦割り班活動・人間関係づくりプログラムを通して、互いの良さを認め合える集団・いじめや差別を許さない集団をつくる中で、進んで他者と関わり、よりよい生活を気づこうとする力の育成を図ります。

改革の実働に当事者として支援・協力する
横山小学校区まちづくり協議会
協育コーディネーター
放課後チャレンジャー教室

校務の効率化及び地域との協働実現により働き方改革を推進